



美しい 県土づくりNEWS

2014年
6月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第 119 号
平成 26 年 6 月 30 日発行
編集 県土整備企画室



三陸復興

「リアスハーバー宮古」復旧完了

～東日本大震災津波による被災から希望郷いわて国体開催に向け再始動～

平成 26 年 5 月 29 日に、「リアスハーバー宮古竣工式」が宮古市で開催されました。

当日は、天気にも恵まれ、山本正徳宮古市長、伊藤勢至県議会議員、城内愛彦県議会議員、桐田教男沿岸広域振興局副局長、佐藤悟県土整備部長をはじめ多くの行政及び工事関係者が出席し、主催者による挨拶、来賓祝辞等が執り行われました。

また、現地セレモニーでは、「わんこきょうだい」の「そばっち」と「うにっち」も参加してテープカットが行われたほか、宮古商業高校ヨット部キャプテンの木下勇真君の挨拶と宮古高校・宮古商業高校のヨット部によるヨット進水が行われ、リアスハーバー宮古が“再始動”しました。



「リアスハーバー宮古」復旧完了

～東日本大震災津波による被災から希望郷いわて国体開催に向け再始動～

宮古土木センター河川港湾課

「リアスハーバー宮古」は、東日本大震災津波以降利用できない状態が続いていましたが、復旧工事が完了したことから当初の予定より半年程度早い平成26年5月29日に供用が再開されました。

復旧工事では、南からの越波が問題となっていた南側防波護岸の嵩上げを行ったほか、管理棟においては監視カメラや放送等の機材が多く収められている事務スペースを2階へ移動するなど、防災面の強化もあわせて実施しています。

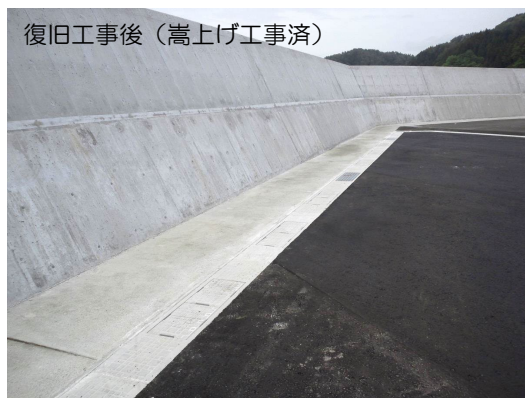
○復旧工事の実施とともに機能強化が図られました

南側防波護岸

被災後（仮応急工事後）



復旧工事後（嵩上げ工事済）



北側護岸

被災後



復旧工事後



○管理棟事務スペースを1階受付から2階研修室の中に移動し、防災面を強化しました。

管理棟事務スペースを1階から2階に移動



研修室とその内部の事務スペース



一般国道281号 案内工区 に着手しました！

県北広域振興局土木部、道路建設課

祝 一般国道281号 案内トンネル築造工事安全祈願祭

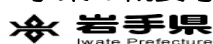
平成26年5月29日、案内工区で最初の工事着手となるトンネル築造工事の安全祈願祭が開催されました。出席された久慈市の遠藤譲一市長から「久慈地域の住民の生活や観光、物流を担う重要な道路。完成を心待ちにしています」との来賓あいさつがありました。

今回の安全祈願祭を弾みとして、安全に工事を進め、一日も早い完成を目指し、関係機関等との連携を図りながら取り組んでいきます。

なお、トンネルの貫通は平成27年秋頃、橋りょう等の完成を含めた全線の開通は平成29年度を目標としています。



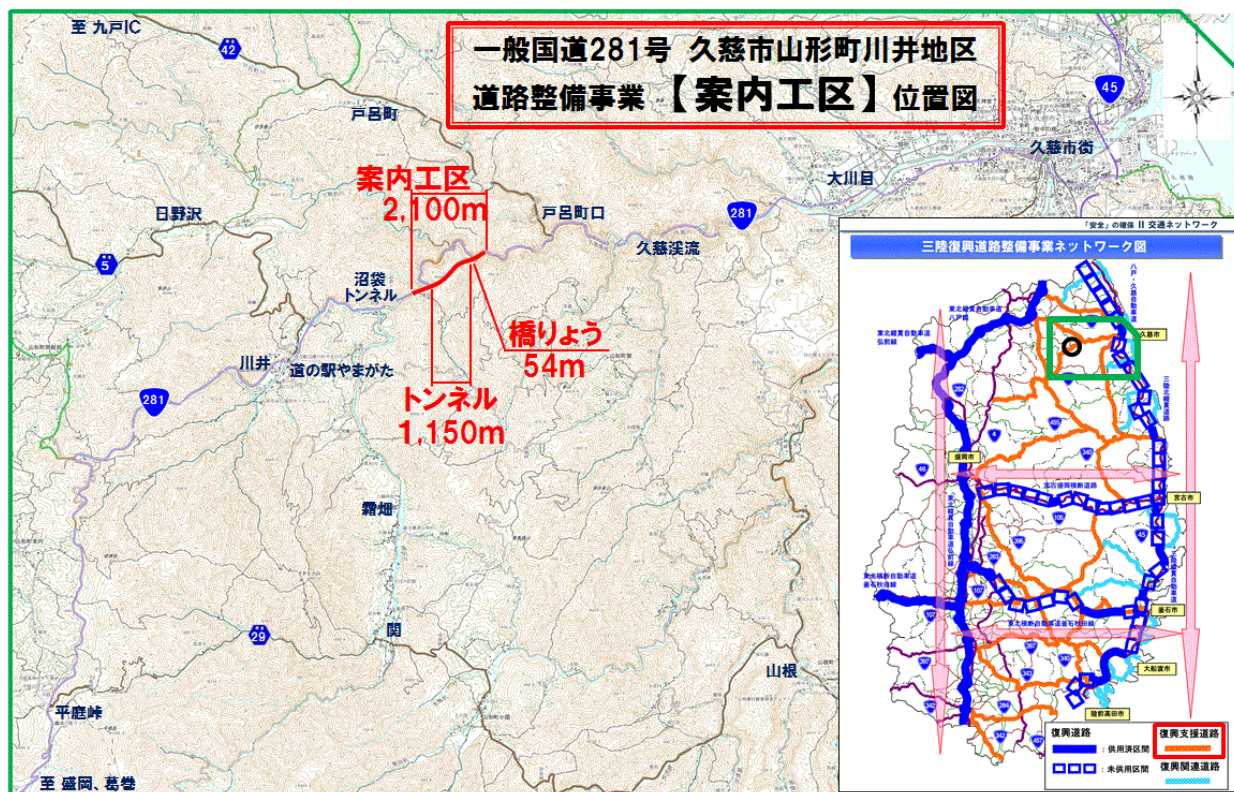
■ 事業の概要等を岩手県のホームページでお知らせしています。



ホームページ > 県北広域振興局 > 土木部 > 事業紹介

> 地域連携道路整備事業 一般国道281号 案内工区

<http://www.pref.iwate.jp/kenpoku/doboku/jigyo/019336.html>



一般国道281号 久慈市山形町 案内工区 事業概要

- 事業箇所：久慈市山形町川井（沼袋トンネルと戸呂町口の間の区間）
- 計画延長：2,100m（現況は約3,100m。整備により約2分間の走行時間短縮）
- 主な構造物：トンネル（案内トンネル）1,150m、橋りょう（新芋谷橋）54m
- 事業期間：平成24～30年度
- 総事業費：40億円



■随時、現場見学を受け付けております。少人数でも構いませんので、お気軽にお申込みください。

- ・見学の日時は、現場の作業工程と調整のうえ決めさせていただきますので御了承ください。
- ・現地集合とさせていただきます。

（お申込み先）

県北広域振興局土木部 道路整備課（中野・西里）

電話：0194-53-4990（内線262）

久慈川・夏井川築堤護岸改築工事 安全祈願祭を開催

～ 河川堤防嵩上げ工事に着手 ～

県北広域振興局土木部

河 川 課

【工事安全祈願祭】

平成 26 年 6 月 10 日、久慈市長内町地内において「久慈川・夏井川築堤護岸改築工事」の安全祈願祭が開催されました。

本工事は、久慈川・夏井川の津波対策河川堤防の嵩上げ工事に関連する工事としては、初めての工事着工となります。

安全祈願祭には、施工会社、市、県、地権者等の関係者約 100 名が出席し、鍬入れや玉串奉奠などの神事が行われました。

施工会社代表として宮城建設株式会社からは、「それぞれの工事を無事故無災害で早急に施工したい」との決意が述べられました。



神事（鍬入れの儀）の様子



遠藤譲一久慈市長あいさつ

【久慈川・夏井川築堤護岸改築工事の概要〈事業主体：岩手県〉】

平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災津波では、津波が防潮堤を大きく乗り越え甚大な被害が発生したことから、周辺の津波浸水被害を防ぐため、T.P.+8.0m に堤防を嵩上げするものです。この高さは久慈港諏訪下防潮堤・久慈湊漁港海岸防潮堤と同じ高さで整備し、国が進める久慈港湾口防波堤の整備効果と併せ、東日本大震災の規模の津波でも浸水しないよう計画しています。

※ T.P.とは・・・東京湾平均海面からの高さ

【おわりに】

今回の安全祈願祭を弾みとして、工事を安全に進め、一日でも早く完成することを目指して取り組んでいきます。

金浜地区海岸災害復旧工事の「安全祈願祭」を開催！

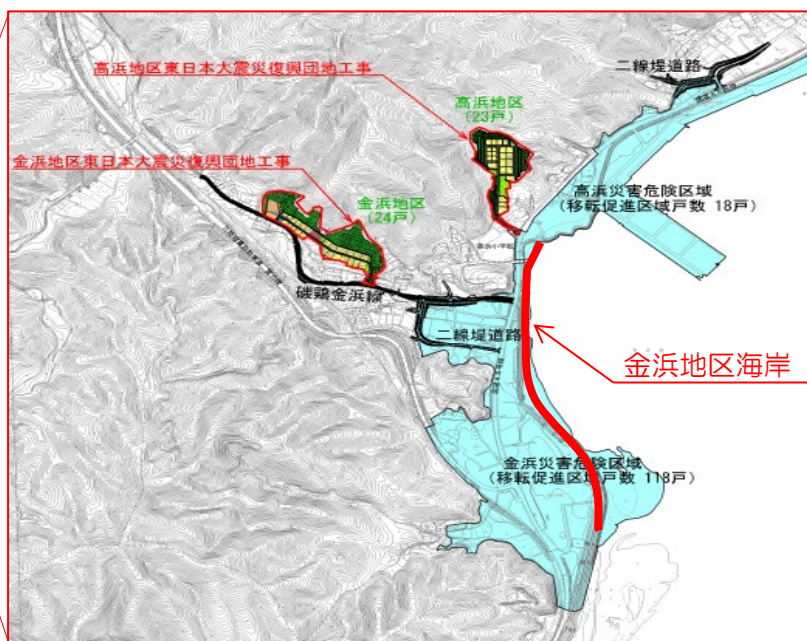
沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

平成26年6月23日、宮古市金浜の金浜海岸において、災害復旧工事の本格着手を前に安全祈願祭が開催されました。

安全祈願祭は、金浜地区海岸災害復旧（23災585号）工事並びに金浜地区海岸災害復旧（23災585号）その2工事の受注業者である株式会社本間組と大豊建設株式会社が主催し、工事関係者をはじめ、地権者の方々など約40名が出席して行われました。東日本大震災津波により犠牲になられた方々へ黙祷した後、工事の安全と早期完成を祈願しました。

安全祈願祭に当たり発注者を代表し、沿岸広域振興局の桐田教男副局長が、「関係者の皆様への感謝と早期復旧に向けて、一体となって取り組んでいきたい」と、挨拶しました。

位置図



安全祈願祭の様子



金浜地区海岸の概要

海岸背後の宮古市金浜地区は、国道45号やJR山田線が走り、住宅地や商業施設用地として活用されている地域でありましたが、平成23年3月11日の東日本大震災津波により、痛ましい甚大な被害を受けました。

海岸付近の津波痕跡では、痕跡高T.P.+13.0mと既設防潮堤高（T.P.+8.5m）を大きく越える津波であったことが確認されています。

※ T.P.とは・・・東京湾平均海面からの高さ



被災前（平成22年3月）



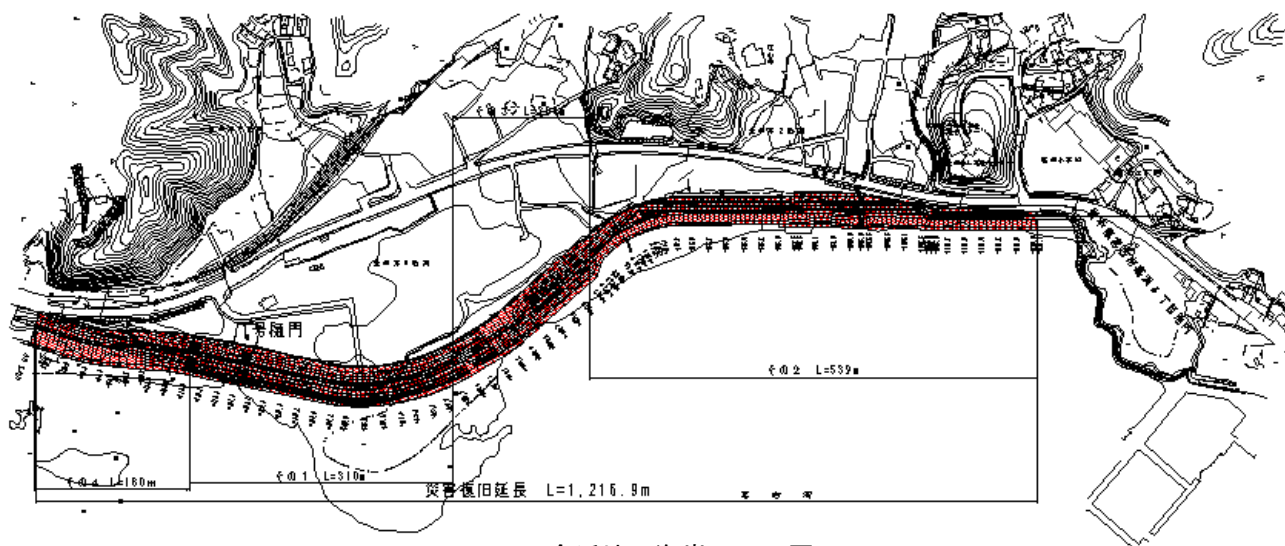
被災後（平成23年3月）

災害復旧工事の概要

県では、「岩手県津波防災技術専門委員会」における検討結果を踏まえ、宮古湾の新計画堤防高をT.P.+10.4mで復旧することとしました。

これらの災害復旧工事は、平成28年度の完成に向けて、鋭意進めています。

金浜地区災害復旧（23災585号）工事



金浜地区海岸の平面図

復興願い小白浜地区海岸災害復旧工事の安全祈願祭を開催！

沿岸広域振興局土木部

東日本大震災津波により、TP+19.3m（痕跡値）の津波に襲われ、甚大な被害が発生した釜石市唐丹町片岸地区において、小白浜地区海岸災害復旧工事（水門・防潮堤工事）の安全祈願祭が6月16日に行われました。

安全祈願祭は、小白浜地区海岸災害復旧（23 災 594 号）工事の受注者である三井住友建設㈱・㈱本間組・梨子建設㈱特定共同企業体が主催、市、県、国の関係者約40名が出席し、鍬入れ、玉串奉奠などの神事が行われました。東日本大震災津波により犠牲になられた方々へ黙祷した後、工事期間中の無事故と早期完成を祈願しました。

安全祈願祭の後には、発注者を代表して、西村沿岸広域振興局副局長が事業用地の提供にご理解をいただいた地権者の皆様への感謝を述べるとともに、施工業者を代表して大槻副本部長からは、関係者一体となって高品質で安全な防潮堤を無事故、無災害で完成させるべく、力を尽くす旨の挨拶がありました。

※ T.P.とは・・・東京湾平均海面からの高さ

安全祈願祭の状況



東京都派遣職員（寺島総括主査）による玉串奉奠



東京都派遣職員（春木主任）による玉串奉奠

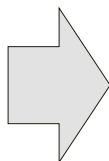


鍬入れの儀

震災前後の状況



被災前（平成 22 年 3 月）



被災後（平成 23 年 3 月）

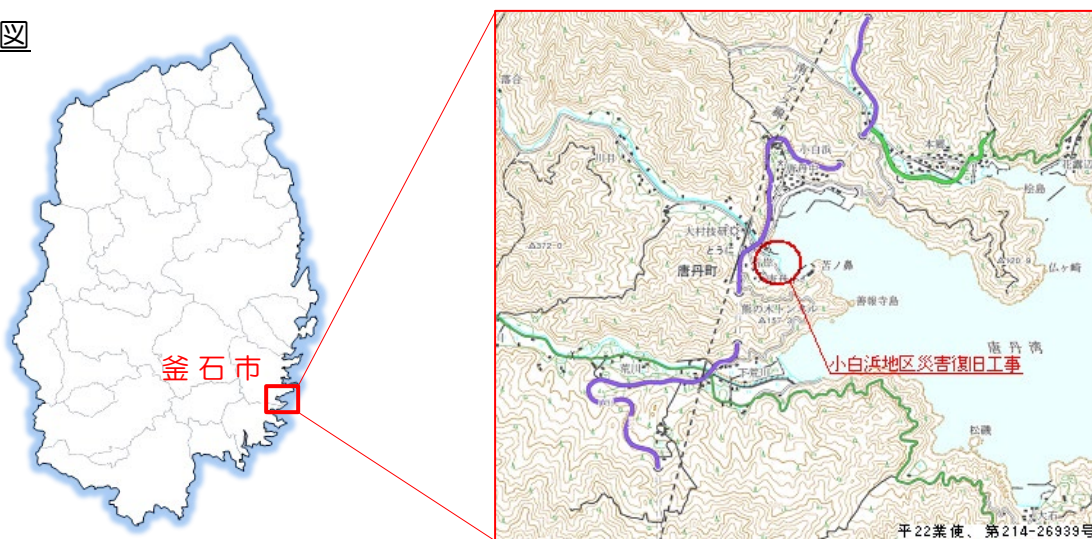
※ 赤線は津波浸水範囲

災害復旧工事の概要

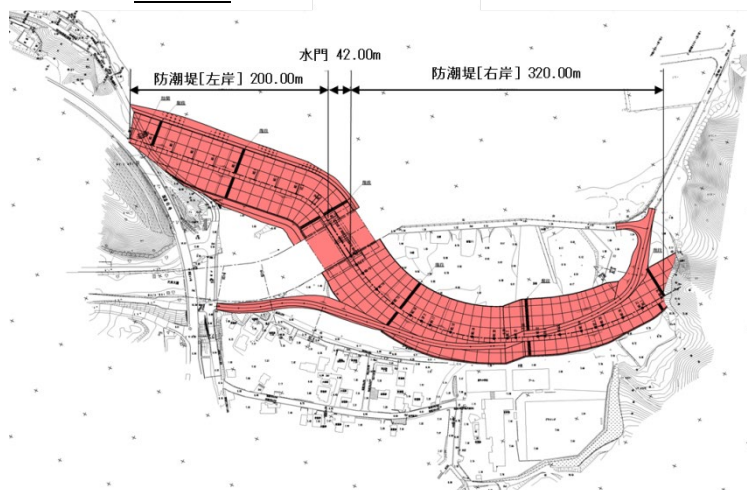
新設する防潮堤高さは、従前のT P+11.8mからT P+14.5mに嵩上げし、水門の位置も従前の位置から約 85m海側にシフトしています。（防潮堤延長L=520m、水門L=42m）

また、工事期間中はサケ漁に影響が無いよう 10 月～12 月の間は海上工事を休止する予定です。

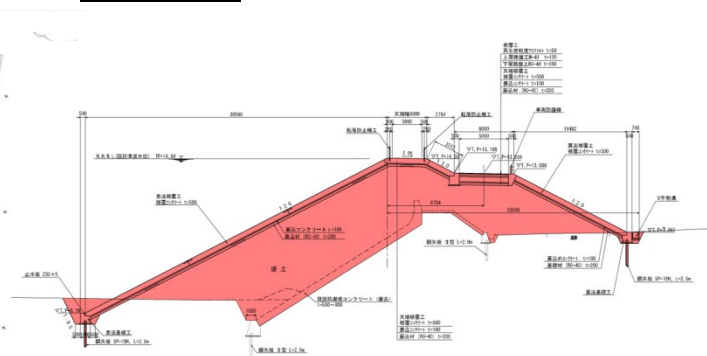
位置図



平面図



標準横断面図



市道役場線（仮称）浄法寺大橋工事の現場見学会を開催しました！

二戸土木センター

平成24年度から県代行事業として工事を進めている二戸市道役場線の（仮称）浄法寺大橋工事で、地元の浄法寺小学校の生徒を対象とした現場見学会を実施しています。

現場見学会の様子



建設業者から工事の説明



建設業者から工事の説明



機器を使った測量体験



クレーン車の動作の合図を体験



工事で使用する太い鉄筋に触ってみました



鉄筋の組立て体験

工事の概要

市道役場線は、現在県で整備を進めている浄法バイパスと主要地方道二戸五日市線を結ぶ路線です。（仮称）浄法寺大橋は、平成24年に工事に着手し、これまでに、下部工（橋台2基、橋脚1基）が完成しています。現在、上部工の工事を進めており、平成26年度内の供用を目指しています。

位置図



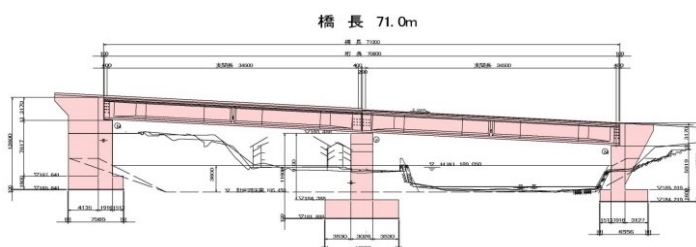
【（仮称）浄法寺大橋の概要】

橋 長：71m
 幅 員：（総幅員）16.5m
 （有効幅員）15.5m
 上部構造形式：PC2 径間連結コンポ桁橋
 下部構造形式：（橋台）逆T式
 （橋脚）小判壁式
 架設工法：エレクションガーター

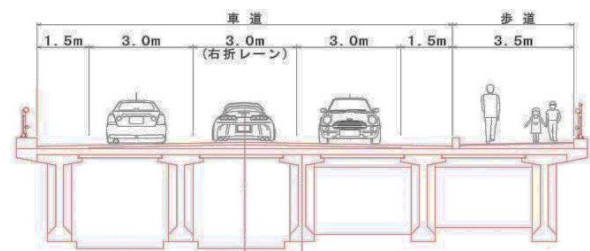
橋梁上部工架設状況



橋梁一般図



横断図



東日本大震災津波からの本格復興等に関する要望を行いました

～平成 27 年度政府予算の概算要求に向けて～

県土整備企画室

平成 26 年6月3日に、東日本大震災津波からの復旧・復興等に当たっての提言・要望活動を実施しました。

今回の要望は、東日本大震災津波からの復旧・復興に向けて、甚大な被害を受けた被災地では、引き続き国等の強力な支援が必要であることから、「今後も、国費による充実した支援」、「復興の支障となっている現行制度の弾力的な運用」等について、達増知事から国等に対して提言・要望を行いました。

このうち、県土整備部関係については、「復興に必要な財源の確保と十分な予算措置」、「社会資本整備総合交付金（復興）の復興の進度に応じた予算措置及び全面的な財政支援等」等について、根本匠復興大臣、自民党、国土交通省幹部職員に対し要望を行いました。

県では、被災地における復興を強力に推進するため、引き続き、国に働きかけていきます。

【主な要望内容】

1 復興に必要な財源の確保と十分な予算措置

- 復興が完了するまでの間の財源確保
- 特例的な財政支援の継続

2 社会資本整備総合交付金（復興）の復興の進度に応じた予算措置及び全面的な財政支援等

- 復興の進度に応じた予算措置及び全面的な財政支援
- 基金型の創設

3 直轄事業の着実な推進と全面的な財政支援

- 「復興道路」等の早期完成
- 津波対策のための防災施設等の早期復旧・整備



復興庁への要望状況（左から、高橋ひなこ衆議院議員、藤原崇衆議院議員、根本匠復興大臣、達増拓也岩手県知事



自民党への要望状況（左から、藤原崇衆議院議員、高橋ひなこ衆議院議員、橋本英教衆議院議員、野田聖子総務会長、細田博之幹事長代行、達増拓也岩手県知事）

砂防えん堤探検隊

～地元小学生を対象に～

砂防災害課

国土交通省と都道府県では、昭和 58 年から毎年6月を「土砂災害防止月間」として、土砂災害の防止と被害の軽減を図るための各種活動を実施しています。

今回は土砂災害防止月間の一環で行われた砂防えん堤探検隊についてお知らせします。

毎年、岩手県、国土交通省岩手河川国道事務所、滝沢市、雫石町及び一関市では、次代を担う小学生を対象に、地域の安全を支える砂防施設や災害から自らの身を守ることの重要性について学習（八幡平山系では火山災害、磐井川では土砂災害）することを目的に「砂防えん堤探検隊」を開催しています。

八幡平山系の砂防えん堤探検隊の様子



職員からの説明を真剣に聞く児童



大きな石だなあ



終了証の授与



最後に記念写真をパクリ！

今年度の砂防えん堤探検隊は、八幡平で4回、磐井川で3回の開催を計画しています。先陣として6月 10 日に雫石町立上長山小学校3、4年生の児童 11 人が出発しました。当日は、八幡平市にある「イーハトーブ火山局」に集合し、岩手山の噴火の歴史を学んだ後、岩手県立大学の伊藤教授によるコーラ噴火実験の体験、焼走り溶岩流、小水無沢第1砂防えん堤と松川流路工を見学しました。子どもたちは真剣に砂防施設の重要性について学んだ様子でした。

最後に砂防災害課加藤総括課長から修了証を授与し、無事に終了しました。

「優秀建設施工者岩手県知事表彰式」を開催しました

建設技術振興課

平成26年6月20日、「第22回優秀建設施工者岩手県知事表彰式」を盛岡市の建設研修センターで開催しました。

この表彰は、優秀な建設施工者を広く表彰することにより、「ものづくり」に携わっている者の誇りと意欲を増進させ、これらの方々の能力と資質の向上を図るとともに、その社会的評価・地位の向上を図り、建設業の健全な発展に資することを目的に、建設産業構造改善推進週間の一環として、平成5年度から開催しているものです。

今年度は、初の女性受賞者1名を含む9名の方に千葉茂樹副知事から表彰状と建設マスターの徽章が授与され、千葉伝県会議長、宇部貞宏社団法人岩手県建設産業団体連合会会長から祝辞を受けました。

○ 受賞者一覧（敬称略、年齢は5月1日現在）

受賞者名	年齢	所属会社	（所在地）
奥田 智洋	46	相光電気(株)	盛岡市
菅原 永久	50	兼田建設(株)	久慈市
本館 透	55	(株)小田島組	北上市
菅原 昭	40	南建設(株)	軽米町
運萬 勝彦	48	(株)照甲組	花巻市
伊東 政喜	52	大坂建設(株)	宮古市
霜山 隆	59	(株)中澤組	大船渡市
津村 光広	60	(株)遠忠	八幡平市
菅原 光美	41	工藤建設(株)	奥州市

